

Hyper-Vを利用した仮想化統合環境の導入を検討する際  
運用変更や新たな運用を行う必要がある

同一部門3年連続マイクロソフト  
パートナーアワード受賞



事前にヒアリングした現行サーバ構成や運用要件を元に、  
想定される構成や運用方式を事前に検討



**日立のアセスメントが  
仮想化基盤に対する悩みを解決します**



日立のHyper-Vアセスメントサービスとは、ユーザーが導入する新規システムへの要件に最適なサービス（コンサルテーション、設計・構築、運用サービス）実績を元にした、概要検討ソリューションです。過去の事例にしたがい、お客さまのさまざまな要望と現状を伺い、「プラットフォームソリューションナレッジ」を適用することにより、短期間で、迅速な仮想化システム構築を想定した検討を支援します。



## ヒアリング実施

お客様が専用のヒアリングシートにご記入頂きます  
(方針を決定する上での、**ポイントを絞った項目の確認**を行います)

### ◆集約・運用方針

ヒアリング項目	結果
…の必要性は？	Yes
…の集約率は？	
…	

### ◆現行環境調査(サーバー・ネットワーク一覧)

システム名	OS	障害復旧許容時間	..	..
Aシステム	Win2000	2時間		

## アセスメント実施

ヒアリング結果を元にした、**仮想化システム導入時の全体像**を策定します  
策定した結果として、以下のような情報を作成します



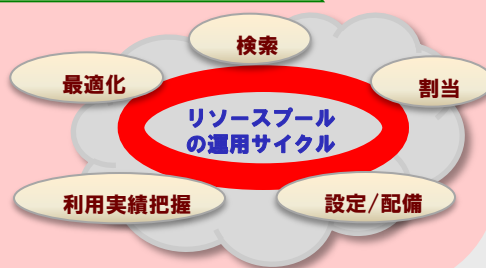
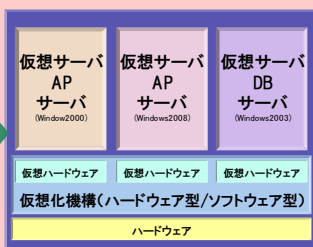
①Hyper-Vを利用した統合の推奨イメージ図

②ディスク・ストレージ、ネットワーク構成

③非機能要件に応じたシステムの方式・構成

④運用要件に応じた運用基盤の必要機能

ネットワーク構成	
DISK配置	2重化構成
バックアップ・リストア方式	
セキュリティ適用	
監視・障害回復	
ローリングメンテナンス	



## レポート活用

分析結果は、①将来の導入時のコンセプト、②サーバーの仮想化対応可否判断、③ハードウェア・ソフトウェア構成、④必要とされる運用機能、を**社内検討時の参考情報や叩き台**としてご活用頂けます。



- ・仮想化対象サーバー一覧
- ・サーバー構成
- ・ストレージ構成
- ・バックアップ方式…
- ・障害監視方式…
- ・構成管理方式…
- ・ハードウェア構成
- ・ソフトウェア構成
- ・ハードウェアお見積り
- ・スケジュール例
- ・作業項目 (WBS) 例

本資料に記載されている会社名・商品名は各社の商標または登録商標です。